

平成 24 年度第 3 回（6 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 6 月 14 日（木）午後 18 時 30 分～20 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、栗本、清水、増田、山西杉山、山田、久保田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 酒井、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（5 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 5 月 26 日 午前 10 時より、平成 24 年度定時総会が開催された。
1 号議案の平成 23 年度事業報告、2 号議案の平成 23 年度決算報告、3 号議案の平成 23 年度監査報告および 4 号議案の平成 24・25 年度役員選任は、全て承認された。
- ・ 総会終了後、新役員による臨時理事会を開催した。
会長に宮島喜文氏、副会長に松本祐之氏、常務理事に下田勝二氏、執行理事に山本慶和氏、萩原三千男氏、坂西清氏、津田総一郎氏、丸重美幸氏、上原昭造氏が選任された。
また、業務執行の為執行理事会議を開催する。執行理事会は会長、副会長、専務理事、常務理事で構成する。

2. 近臨技

- ・ 6 月 16 日（土）に近臨技会議を開催する。
平成 23 年度の決算、24 年度予算、役員について討議予定。
近臨技主催の研修についても討議する予定。
- ・ 6 月 16 日（土）に関西支部会も開催する。

3. 事務局

〈総務部〉5 月 16 日（水）に部会を開催した。

- ・ 平成 24 年度第 1 回定期総会について検討した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。
- ・ Web 版大臨技会報の作成について検討した。
- ・ 大臨技会員証の再発行について検討した。
- ・ 大臨技ホームページについて検討した。
- ・ 日臨技会員受付方法の運用と周知徹底について検討した。
- ・ 受付端末機材の購入について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 5 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉5 月 16 日（水）に部会を開催した。

- ・ 4 月度収支決算書を作成した。
- ・ 5 月分事務員給料および事務所管理費を送金した。
- ・ 平成 23 年度決算書について会計事務所と確認を行った。

〈渉外部〉 5 月 15 日（火）に部会を開催した。

- ・ 看護フェスタおおさか 2012 について検討した。
- ・ 第 1 回大放技・大臨技合同フォーラム委員会（6 月 5 日開催）について検討した。
- ・ 第 38 回献血推進活動（8 月 25 日開催交渉中）について検討した。

4. 事業局

〈情報組織部〉 5 月 17 日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会について内容の再確認と詳細事項を検討した。
- ・ 多職種合同研修会について内容の再確認を行った。

〈地区事業部〉 5 月 17 日（木）に部会を開催した。

- ・ マタニティーカーニバル 2012（平成 24 年 7 月 7 日（土）～7 月 8 日（日）、大阪南港 ATC ホールにて開催）について話し合った。
内容：ユニフォームの作製・ボランティア募集について。
- ・ 北支部自由集会（5 月 26 日開催、テーマ：画像診断の基礎）の参加人数は 222 名であった。

〈学部部〉 5 月 8 日（火）に部会を開催した。

- ・ 第 7 回学部部講演会について検討した。
- ・ 参加登録に関して検討した。
- ・ 生涯教育推進研修会助成金について説明した。
- ・ プロモーションコードの扱いについて検討した。

Ⅲ. 他、報告

1. 日臨技報告について（運天会長）

1) 日臨技総会について

現在の日臨技会員は 47,514 名で、委任状を含め出席率は 60%以上であったため、総会開催は成立し、すべての議案が承認された。

今回は書面議決としたため全国的にも提出率が低かったが、その中でも大阪は 47 都道府県中、最下位だったのが残念である。

2) 臨時理事会について

執行理事会のメンバーが全員決定した。

運天会長は、総合情報委員会と医療安全委員会を担当することとなった。

近臨技の富永会長は、未来構想委員会に選任された。

森嶋顧問は、チーム医療の委員に選任された。

2. 叙勲について（吉本副会長）

平成 25 年春の叙勲・褒章候補者（衛生分野）の推薦について、5 月 18 日に大阪府健康医療部保健医療室地域保健感染症課より依頼があったが、推薦依頼書類の提出期限が 6 月 4 日と切迫しており、次回理事会での検討にも間に合わなかったため、今回は推薦をしないこととした。

今後、平成 25 年度秋の叙勲・褒章について 1 名を推薦する予定である。

3. 大臨技行事受付および登録について（栗本理事）（別紙参照）

大臨技行事受付および日臨技生涯教育履修登録についての会員等からの質問事項に関しての対応を検討するとともに、「行事登録マニュアル」および「大臨技行事参加者記入リスト」を作成し、大臨技ホームページに掲載した。

- ①日臨技のみの会員は、大臨技非会員扱いとなる（非会員欄にチェックする）。
- ②大臨技行事参加者リストは、現行の大臨技ホームページに掲載している「大臨技行事参加者記入リスト」を使用する。
- ③シリーズ化されている講習会に関しても、その都度「大臨技行事参加者記入リスト」を使用して受付を行う。
- ④記入後「大臨技行事参加者記入リスト」は、7日以内に大臨技事務所にファックス送信する。
ファックス送信された「大臨技行事参加者記入リスト」は参加者の把握および将来のシステム管理用として事務所で保管しておく。

4. 大臨技会員証の再発行について（吉本副会長）

大臨技会員証の再発行についてホームページに掲載する内容について説明があった。

再発行申請書を掲載し、再発行希望者は申請書に必要事項を記入の上、大臨技事務所に送付もしくはファックス送信するとともに、再発行費用（手数料）500円を郵便振込してもらう。事務所で確認後、会員証の発行スケジュールに基づき再発行する。

尚、郵便振込時の取扱手数料について不明点があるため、再度、総務・会計部で調査することとした。

5. その他

（運天会長より）

- ・第52回日臨技関西支部医学検査学会の演題数不足により、演題締切日が6月20日から6月27日に延長になったのでご協力要請する。
- ・日臨技総研について、総合研究所検討委員会が凍結された。
- ・大阪市衛生検査所精度管理専門委員会について、今年度より橋下市長体制となり変更があった。
当件について、6月14日（木）に担当の大阪市保健医療対策課・堂園氏が大臨技事務所に来所し、運天会長に変更箇所について説明をされた。
 - ・任期が1期2年2期までから1期1年3期までとなった。
 - ・報酬は大阪府委員報酬に合わせる。

（吉本副会長より）

- ・日臨技より、冊子「社団法人日本臨床検査技師会60年の記録」が事務所に20冊届いた。

（増田理事より）

- ・大臨技・大放技合同フォーラムについて
日時：2013年1月19日（土）
場所：大阪府医師協同組合会館
テーマ：「循環器系の疾患」主に心筋梗塞および狭心症
教育講演と特別講演の2部構成とし、大臨技からは、心電図および心エコーを内容とした講演を行い、それに伴う講師も考慮中である。
- ・府民フォーラムについて
10月28日（日）12時より開催。講演会は13時から予定。
場所：大阪YMCA国際文化センター

テーマ：「肝臓を大切にしていますか？脂肪肝と言われたら」

薬剤師会・検査技師会・栄養士会の各会から基調講演を行う、講演者については検討中である。

IV. 議 題

1. データ標準化委員会について（運天会長）

データ標準化事業の報告会に参加して、全国の標準化事業はデザインどおりに出来上がりつつあると受け止めた。基幹病院を中心に進めているデータ標準化だけでなく、基準範囲の設定についても概ね出来ている状況にある。参加施設も増えており、全国の認証施設 486 については新聞にデータ標準化認証施設として施設名が掲載された。日臨技としては認証施設をさらに増やして、認証を受けている施設が診療報酬上、評価されるように検討している。それを踏まえて大阪府でも認証施設を増やしていきたいと考えている。認証を得るに当たって、参加項目をかなり広げた形で進めていく必要がある。については、資料作成に要する費用について検討をした。検討の結果、試料をまとめて作られている九州の篠原先生に依頼することも視野に入れて進めていくことになった。予算については 72 万円の費用を負担する形で進めていくこと。参加費 1,000 円については当面は現状どおりとするか委員会で検討してもらうことで理事会承認を得た。

データ標準化委員会委員長の山西理事より、先日のデータ標準化委員会について報告があった。日臨技に承認施設として承認される為に項目を増やすことで先日の委員会で承認された。

今までのプール血清だけでは追いつかないので、リノール等 5 種類くらいのサンプルをサーベイの対象にする必要がある。購入するものもあるので予算が増える事も考えられる。

ボランティアの正常の新生プール血清も必要なので、通常通り募集してプール血清を作成する。

サーベイ実施日程は 10 月 29 日（月）だが、今年は初めての CBC が入っているのでプレサーベイを実施する必要があると考えている。8 月の大臨技ニュースにはサーベイのアナウンスを載せて、9 月号ニュースで詳細な案内を載せる。

サーベイの集計業務を今までは手作りで行っていたが、今年度は日臨技のサーベイ用のシステムを無償で使えることになった。

2. 事業費について（荒木理事）

大臨技事業費における会議費等について統一を図るために再検討した。

- ・部会出席の各委員（理事および世話人）には、交通費および会議費として 500 円を支払う。
- ・研修会等出席の各委員には、交通費および日当として 1,000 円を支払う。
- ・研修会等の参加費は、各委員からも徴収する。

上記事項等のまとめを「学術部および各部門会計マニュアル」として大臨技ホームページの会員専用ページに掲載することとした。

3. 公益向けの HP について（運天会長）

大阪府の主務官庁より、大臨技ホームページの内容について会員向け内容が主で公益向け内容が弱いとの指摘を受けたため、ホームページのレイアウト変更等を行い、現行の府民公開講座や府民向け情報の掲載をトップページから閲覧できるよう工夫をして行くこととした。

4. 理事会開催時間の変更について（運天会長）

理事会開催時間について、勤務終了時間や遠方からの出席者のことを考慮して現行の 18 時 30 分開始から、19 時開始・20 時終了にしたいとの提案があり、承認された。

これを受け、7 月理事会から適用することとした。

5. その他

- ・平成 24 年度事業計画書（井戸田理事）

7 月 16 日（月）糖尿病療養指導士講演会について、日本イーライリリー(株)と共催事業とし、3 人分の講師謝礼金の負担を依頼していることについて、理事会承認とした。

- ・ 学術部の血液検査部門より、会員からの要望に応え血液形態講演会を 1 回から 3 回に追加開催することについて理事会承認とした。（高田理事）

- ・ 8 月 11 日（土）大阪市地域医療推進協議会に、運天会長、竹浦副会長、吉本副会長が出席する。

以上

理事会議事録確認（署名欄）
